

【プロトコル】クロモアガーECC 寒天培地の作成

改訂履歴

- ✓ 2025年7月14日：米田一路
 - v1.0：オリジナル版 v1.0 の作成.

メモ

- ✓ 2025年7月14日現在，培地の節約のため，どんな目的であれ大シャーレ1枚に分注する培地の量は10 mLにしています.：米田
- ✓ https://www.kanto.co.jp/dcms_media/other/M-080.pdf (製品リンク)
- ✓ 調製した培地は最大2か月間冷蔵保存できる.

用意するもの (1L 作成時)

- ✓ クロモアガーECC (32.8 g)
- ✓ MiliQ-Water (1L)
- ✓ メスシリンダー×1個
- ✓ 薬さじ×1個
- ✓ オートピペッター
- ✓ ピペット (10mL以上) ×1個
- ✓ シャーレ
- ✓ 三角フラスコ×1個
- ✓ 攪拌子×1個
- ✓ ヒートスターラー×1個
- ✓ アルミホイル
- ✓ パラフィルム
- ✓ ジップロック

- ① 三角フラスコに，クロモアガーECC32.8 g (1L 作成時) を薬さじで取り分ける. このとき，大腸菌等に汚染されていない薬さじ (洗剤等で洗浄後に超純水でゆすいだもの等) を使用する.
- ② MiliQ水 1L をメスシリンダーで測り取り，培地の入った三角フラスコに入れる.
- ③ 培地の入った三角フラスコに，攪拌子を入れる.
- ④ 培地の入った三角フラスコを，ヒートスターラー上に置き，攪拌させながら熱を加え，培地を融解させる. このとき，アルミホイルをフラスコの口にかける (コンタミネーションの防止).
- ⑤ 三角フラスコ内の培地が透明になったら，ヒートスターラーから三角フラスコを取る.
- ⑥ クリーンベンチもしくはキャビネット内にオートクレーブ滅菌後の培地の入った三角フラスコを入れ，シャーレを取り出し，オートピペッターを用いて三角フラスコからシャーレに培地を分注する. 大シャーレへの分注量は菌数を数える場合は 15 mL，菌を増殖させるだけの場合は 10 mL. 小シャーレへの分注量は 7 mL.
- ⑦ シャーレ内の培地が固まったら，シャーレに蓋をし，培地側が上になるように置く (培地側を下にすると，培地から出た水蒸気が結露し，培地に落下してしまいます).
- ⑧ 培地をパラフィルムで包み，ジップロックに入れ，冷蔵 4°Cで保管する. 培地をすぐ (次の日) に使用する場合は，パラフィルムに包まなくても問題ないこ

【プロトコル】クロモアガーECC 寒天培地の作成

とが多いです。それ以上は、パラフィルムに包まないで培地がダメ（コンタミネーションする）になりやすいです。